



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社ナカニシ 上場取引所 東
 コード番号 7716 URL <http://www.nsk-nakanishi.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）中西 英一
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員CFO （氏名）鈴木 大介 TEL 0289-64-3380
 半期報告書提出予定日 2026年8月7日 配当支払開始予定日 2026年9月16日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	47,234	20.5	12,769	22.9	10,012	32.0	11,577	67.1	8,144	132.0
2025年12月期中間期	39,189	1.6	10,390	△6.0	7,587	△8.4	6,930	△34.1	3,510	△50.0

（注）包括利益 2026年12月期中間期 10,192百万円（3248.6%） 2025年12月期中間期 304百万円（△98.0%）
 EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	98.07	97.72
2025年12月期中間期	41.84	41.70

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	174,551	122,009	69.6
2025年12月期	160,155	114,074	71.0

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 121,564百万円 2025年12月期 113,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	26.00	—	28.00	54.00
2026年12月期	—	30.00			
2026年12月期（予想）			—	15.00	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 当社は、2026年8月7日開催の取締役会において、2026年9月30日を基準日、2026年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行うことを決議いたしました。2026年12月期（予想）の1株当たり期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年12月期（予想）の1株当たり年間配当金は60円00銭となります。

詳細につきましては、本日（2026年8月7日）公表の「株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更、ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	94,480	16.4	24,340	22.3	18,649	32.4	19,062	12.6	13,544	—	81.55

EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
2. 当社は、2026年8月7日開催の取締役会において、2026年9月30日を基準日、2026年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行うことを決議いたしました。2026年12月期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年12月期の1株当たり当期純利益は163円10銭となります。
- 連結業績予想の修正については、本日（2026年8月7日）公表いたしました「第2四半期連結業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正（上方修正）」に関するお知らせをご覧ください。

※ 注記事項

- （1）当中間期における連結範囲の重要な変更：有
- 新規 2社 （社名）Acra Cut, Inc.、Intech, Inc.
- （注）詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（当中間連結会計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- （2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期中間期	92,218,200株	2025年12月期	93,418,200株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	9,166,718株	2025年12月期	10,373,418株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年12月期中間期	83,046,782株	2025年12月期中間期	83,908,021株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、アメリカを中心に底堅い成長が続いたものの、通商政策の動向や中東地域における地政学的リスクの高まりを背景に、企業および消費者の先行きに対する慎重な姿勢が強まりました。特に、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇や金融市場の変動により、世界経済の先行き不透明感の高い状況が続きました。ヨーロッパにおいては、ドイツを中心とした財政拡張策を背景に緩やかな回復がみられたものの、エネルギーコストの上昇や地政学的リスクの高まりが経済活動の重石となり、成長は力強さを欠くものとなりました。

一方、国内経済は、企業収益や設備投資が底堅く推移するとともに、雇用・所得環境にも改善の動きがみられました。しかしながら、食料品やエネルギーを中心とした物価上昇が家計負担を高めており、個人消費は持ち直しの動きがみられるものの、その回復は緩やかなものとどまりました。

このような事業環境の中、歯科事業、DCI事業、外科事業および機工事業のすべての事業で二桁増収を達成しました。その結果、売上高は前年同期比20.5%の増収となり、為替の影響を除いても12.3%の増収となりました。また、利益面についても、EBITDA、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益いずれも増益となりました。

この結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は、47,234,964千円（前年同期比20.5%増）、EBITDAは、12,769,688千円（前年同期比22.9%増）、営業利益は、10,012,512千円（前年同期比32.0%増）、経常利益は、11,577,319千円（前年同期比67.1%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は、8,144,522千円（前年同期比132.0%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に評価することを目的として、従来調整額に計上していた研究開発費を各セグメントへ配賦する方法に変更し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。前当中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の算定方法に基づき作成したものを記載しております。

（歯科事業）

歯科事業の売上高については、国内、北米、欧州及びアジアの全ての地域で、前年同期に比べて増収となりました。利益面についても、セグメントEBITDA及びセグメント営業利益ともに、前年同期に比べて増益となりました。

この結果、売上高は、26,962,871千円（前年同期比14.6%増）、セグメントEBITDAは、10,107,097千円（前年同期比10.6%増）、セグメント営業利益は、8,961,875千円（前年同期比11.9%増）となりました。

（DCI事業）

DCI事業の売上高については、値上げ前の駆け込み需要等により前年同期に比べて増収となりました。利益面についても、セグメントEBITDA及びセグメント営業利益ともに、前年同期に比べて増益となりました。

この結果、売上高は12,155,168千円（前年同期比23.6%増）、セグメントEBITDAは1,469,315千円（前年同期比19.1%増）、セグメント営業利益は674,182千円（前年同期比913.9%増）となりました。

（外科事業）

外科事業の売上高については、国内、北米、欧州及びアジアの全ての地域で、前年同期に比べて増収となりました。利益面についても、セグメントEBITDA及びセグメント営業利益ともに、前年同期に比べて増益となりました。

この結果、売上高は、3,909,019千円（前年同期比53.4%増）、セグメントEBITDAは、1,894,122千円（前年同期比45.2%増）、セグメント営業利益は、1,474,280千円（前年同期比20.4%増）となりました。

（機工事業）

機工事業の売上高については、その他の地域を除く、国内、北米、欧州及びアジアの地域で、前年同期に比べて増収となりました。利益面についても、セグメントEBITDA及びセグメント営業利益ともに、前年同期に比べて増益となりました。

この結果、売上高は、4,207,904千円（前年同期比28.6%増）、セグメントEBITDAは、1,290,005千円（前年同期比171.9%増）、セグメント営業利益は、1,141,775千円（前年同期比273.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産の残高は、174,551,385千円で、前連結会計年度末に比べ14,395,921千円増加いたしました。主な要因は、のれんが12,490,395千円増加したこと等によるものです。

負債の残高は、52,541,614千円で、前連結会計年度末に比べ6,460,592千円増加いたしました。主な要因は、短

期借入金が8,345,215千円増加し、長期借入金が1,994,980千円減少したこと等によるものです。

純資産の残高は、122,009,771千円で、前連結会計年度末に比べ7,935,329千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が5,819,268千円増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5,515,379千円減少し、40,448,681千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、7,620,752千円の収入（前年同期は7,578,364千円の収入）となりました。これは主として、税金等調整前中間純利益11,521,075千円の計上により資金が増加した一方で、法人税等の支払額3,845,119千円により資金を支出したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、18,969,432千円の支出（前年同期は6,439,803千円の支出）となりました。主な支出は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による13,248,408千円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,741,131千円の収入（前年同期は2,559,014千円の支出）となりました。主な収入は、短期借入れによる収入11,000,000千円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想については、2026年3月5日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

通期

	金額	対前期増減率 (%)
売上高	94,480百万円	16.4
EBITDA	24,340百万円	22.3
営業利益	18,649百万円	32.4
経常利益	19,062百万円	12.6
親会社株主に帰属する当期純利益	13,544百万円	—

詳細につきましては、本日（2026年8月7日）公表いたしました「第2四半期連結業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,317,878	56,375,905
受取手形	37,674	21,471
売掛金	10,045,924	11,615,330
有価証券	1,480,475	522,367
商品及び製品	13,656,202	14,264,393
仕掛品	5,324,165	5,720,647
原材料及び貯蔵品	6,585,292	7,203,966
その他	4,078,374	3,575,374
貸倒引当金	△116,839	△91,772
流動資産合計	102,409,148	99,207,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,795,751	29,154,798
機械装置及び運搬具	12,216,007	12,546,575
工具、器具及び備品	8,437,524	9,978,806
土地	2,886,477	5,790,029
建設仮勘定	1,186,659	1,454,511
減価償却累計額	△24,660,076	△27,134,469
有形固定資産合計	26,862,343	31,790,251
無形固定資産		
ソフトウェア	641,678	488,172
ソフトウェア仮勘定	670,256	807,023
のれん	5,391,037	17,881,433
顧客関連資産	7,771,482	7,736,708
その他	6,802,012	6,721,003
無形固定資産合計	21,276,467	33,634,341
投資その他の資産		
投資有価証券	4,959,641	5,037,021
関係会社株式	287,984	417,525
保険積立金	680,283	681,604
退職給付に係る資産	380,075	405,331
繰延税金資産	898,383	889,463
その他	2,461,844	2,549,828
貸倒引当金	△60,707	△61,666
投資その他の資産合計	9,607,504	9,919,108
固定資産合計	57,746,315	75,343,701
資産合計	160,155,463	174,551,385

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,324,495	3,642,842
短期借入金	7,774,134	16,119,350
1年内返済予定の長期借入金	7,814,001	8,571,687
未払法人税等	3,382,793	2,862,814
賞与引当金	611,216	568,749
その他の引当金	56,775	—
その他	6,939,103	6,595,620
流動負債合計	29,902,520	38,361,064
固定負債		
長期借入金	11,184,650	9,189,669
退職給付に係る負債	201,116	210,047
繰延税金負債	4,279,811	4,281,026
その他	512,924	499,806
固定負債合計	16,178,502	14,180,549
負債合計	46,081,022	52,541,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	2,586,421	866,007
利益剰余金	110,046,166	115,865,434
自己株式	△14,946,246	△13,207,606
株主資本合計	98,554,289	104,391,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,910,302	2,300,610
為替換算調整勘定	13,213,865	14,871,807
その他の包括利益累計額合計	15,124,168	17,172,418
新株予約権	395,983	445,569
純資産合計	114,074,441	122,009,771
負債純資産合計	160,155,463	174,551,385

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	39,189,728	47,234,964
売上原価	16,085,555	19,810,058
売上総利益	23,104,173	27,424,905
販売費及び一般管理費	15,516,951	17,412,393
営業利益	7,587,221	10,012,512
営業外収益		
受取利息	410,079	484,594
受取配当金	45,985	61,468
補助金収入	10,000	10,000
為替差益	—	1,130,753
雑収入	137,437	190,356
営業外収益合計	603,502	1,877,173
営業外費用		
支払利息	75,828	189,964
支払手数料	2,097	—
為替差損	1,168,669	—
雑損失	13,805	122,401
営業外費用合計	1,260,400	312,366
経常利益	6,930,322	11,577,319
特別利益		
固定資産売却益	1,061	0
訴訟損失引当金戻入額	164,920	—
特別利益合計	165,981	0
特別損失		
固定資産売却損	—	28
固定資産除却損	22,785	56,215
減損損失	8,053	—
固定資産解体費用	17,452	—
特別損失合計	48,291	56,244
税金等調整前中間純利益	7,048,013	11,521,075
法人税、住民税及び事業税	2,217,119	3,709,333
過年度法人税等	1,163,054	—
法人税等調整額	157,472	△332,780
法人税等合計	3,537,647	3,376,553
中間純利益	3,510,366	8,144,522
親会社株主に帰属する中間純利益	3,510,366	8,144,522

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	3,510,366	8,144,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△406,472	390,307
為替換算調整勘定	△2,799,505	1,657,942
その他の包括利益合計	△3,205,978	2,048,250
中間包括利益	304,387	10,192,772
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	304,387	10,192,772

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	7,048,013	11,521,075
減価償却費	2,078,110	2,110,631
のれん償却額	725,031	646,544
減損損失	8,053	—
固定資産解体費用	17,452	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,295	△25,973
賞与引当金の増減額(△は減少)	△46,789	△42,466
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,758	△17,342
受取利息及び受取配当金	△456,064	△546,063
支払利息	75,828	189,964
固定資産除却損	22,785	56,215
固定資産売却損益(△は益)	△1,061	28
補助金収入	△10,000	△10,000
売上債権の増減額(△は増加)	△230,578	△1,023,624
棚卸資産の増減額(△は増加)	△198,064	△964,026
仕入債務の増減額(△は減少)	269,650	△1,109
為替差損益(△は益)	1,036,101	△904,819
その他	128,144	278,461
小計	10,457,558	11,267,495
利息及び配当金の受取額	429,977	365,775
利息の支払額	△80,389	△177,398
法人税等の支払額	△3,238,781	△3,845,119
補助金の受取額	10,000	10,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,578,364	7,620,752
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,729,195	△6,251,889
有形固定資産の売却による収入	1,061	—
無形固定資産の取得による支出	△456,577	△245,275
無形固定資産の売却による収入	5,605	7,131
投資有価証券の売却及び償還による収入	444,715	878,555
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△13,248,408
関係会社株式の取得による支出	△669,800	△120,796
定期預金の預入による支出	△3,303,962	△817,770
定期預金の払戻による収入	354,960	908,181
保険積立金の積立による支出	△48,217	△6,741
その他	△38,393	△72,419
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,439,803	△18,969,432
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,002,800	11,000,000
短期借入金の返済による支出	△2,000,000	△2,681,884
長期借入れによる収入	3,032,980	3,010,618
長期借入金の返済による支出	△1,145,998	△4,262,151
配当金の支払額	△2,195,778	△2,325,452
自己株式の取得による支出	△2,253,016	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,559,014	4,741,131
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,152,732	1,092,169
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,573,185	△5,515,379
現金及び現金同等物の期首残高	35,224,056	45,964,061
現金及び現金同等物の中間期末残高	32,650,870	40,448,681

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当中間連結会計期間における重要な子会社の異動）

（1）連結の範囲の重要な変更

当中間連結会計期間において、2026年4月1日付で当社連結子会社NSK America Corp.がAera Cut, Inc.及びIntech, Inc.の全株式を取得し連結子会社化したため、連結の範囲に含めております。

（2）変更後の連結子会社の数

19社

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
	歯科事業	DCI事業	外科事業	機工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,533,425	9,834,925	2,548,870	3,272,506	39,189,728	—	39,189,728
セグメント間の内部 売上高又は振替高	176,033	—	—	—	176,033	△176,033	—
計	23,709,459	9,834,925	2,548,870	3,272,506	39,365,762	△176,033	39,189,728
セグメント利益又は損 失(△)	8,006,365	66,492	1,224,626	306,070	9,603,555	△2,016,333	7,587,221

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 2
	歯科事業	DCI事業	外科事業	機工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	26,962,871	12,155,168	3,909,019	4,207,904	47,234,964	—	47,234,964
セグメント間の内部 売上高又は振替高	442,525	—	—	—	442,525	△442,525	—
計	27,405,397	12,155,168	3,909,019	4,207,904	47,677,490	△442,525	47,234,964
セグメント利益又は損 失(△)	8,961,875	674,182	1,474,280	1,141,775	12,252,114	△2,239,601	10,012,512

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に評価することを目的として、従来調整額に計上していた研究開発費を各セグメントへ配賦する方法に変更し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の算定方法に基づき作成したものを記載しております。